

営農支援アプリ「アグリノート」が推進する オープンプラットフォーム戦略

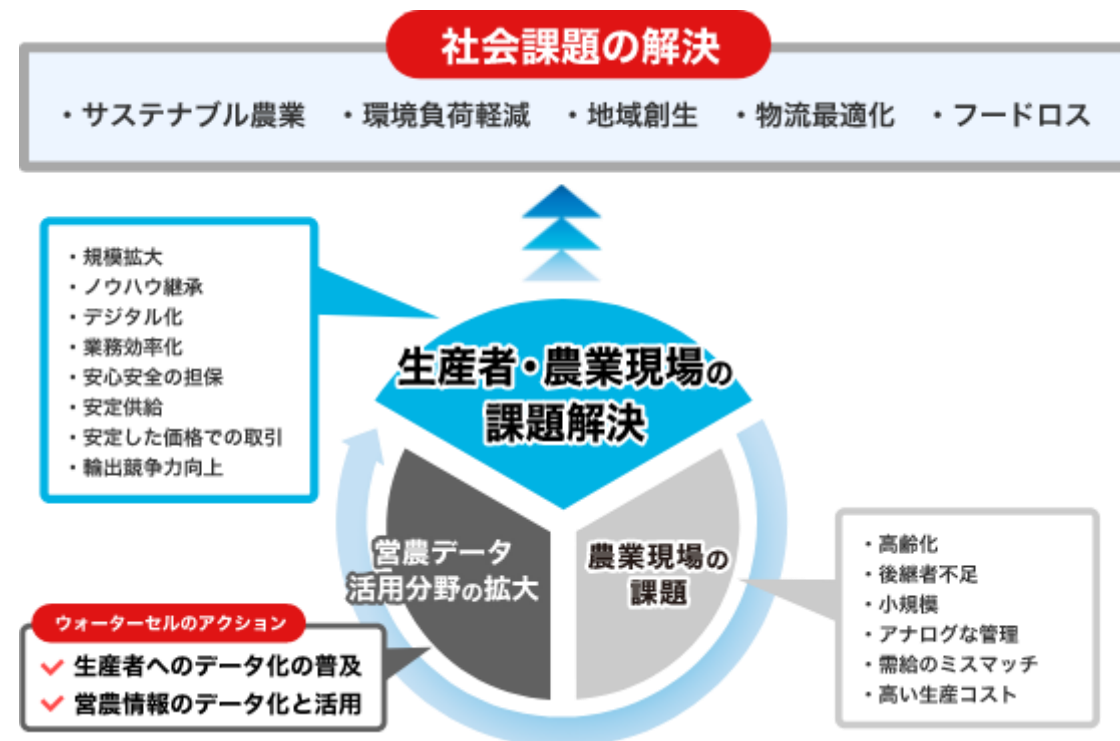
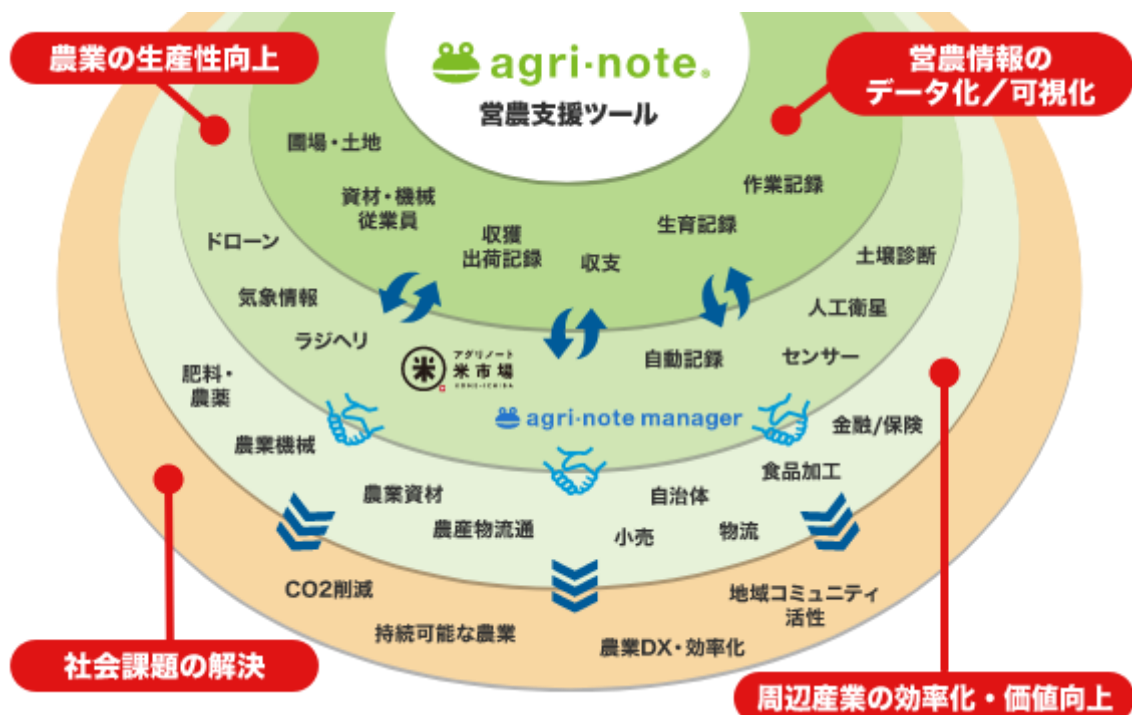
ウォーターセル株式会社

ウォーターセル株式会社

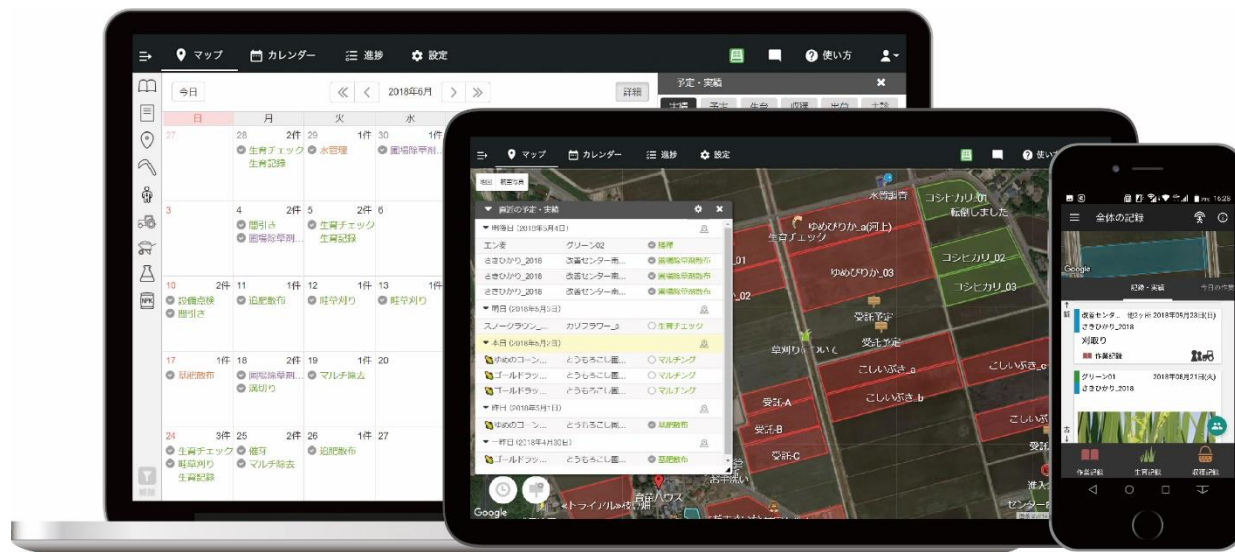


- 所在地：新潟県新潟市
- 設立：2011年7月
- 創業者：長井 啓友（IPA情報処理推進機構 未踏スーパークリエータ）
- 代表者：渡辺 拓也
- 従業員：31名（2024年4月現在）
- 主なサービス：
 - 営農支援ツール **アグリノート**
 - 営農情報共有ツール **アグリノートマネージャー**
 - 米取引マッチングサービス **アグリノート米市場**
- 株主：三菱商事(株)、ベジタリアア(株)、(株)NTTデータ、(株)伊藤園、井関農機(株)、ヤンマーアグリ(株)

生産者の役に立つ情報プラットフォームを提供し、 営農情報のデータ化、共有、連携で農業界の課題を解決



営農に関するさまざまな情報を記録・集計・出力する 営農支援アプリ



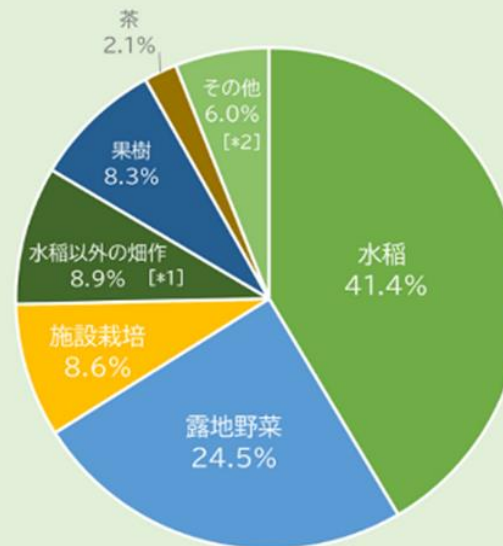
2012年のリリース以来、 今年 **12周年** を迎えました!

アグリノート 利用組織数推移



※2012年7月12日より集計を開始、毎年12月末日時点の登録組織数をもとに集計しています

アグリノート 利用ユーザー 作物分布



【調査内容】

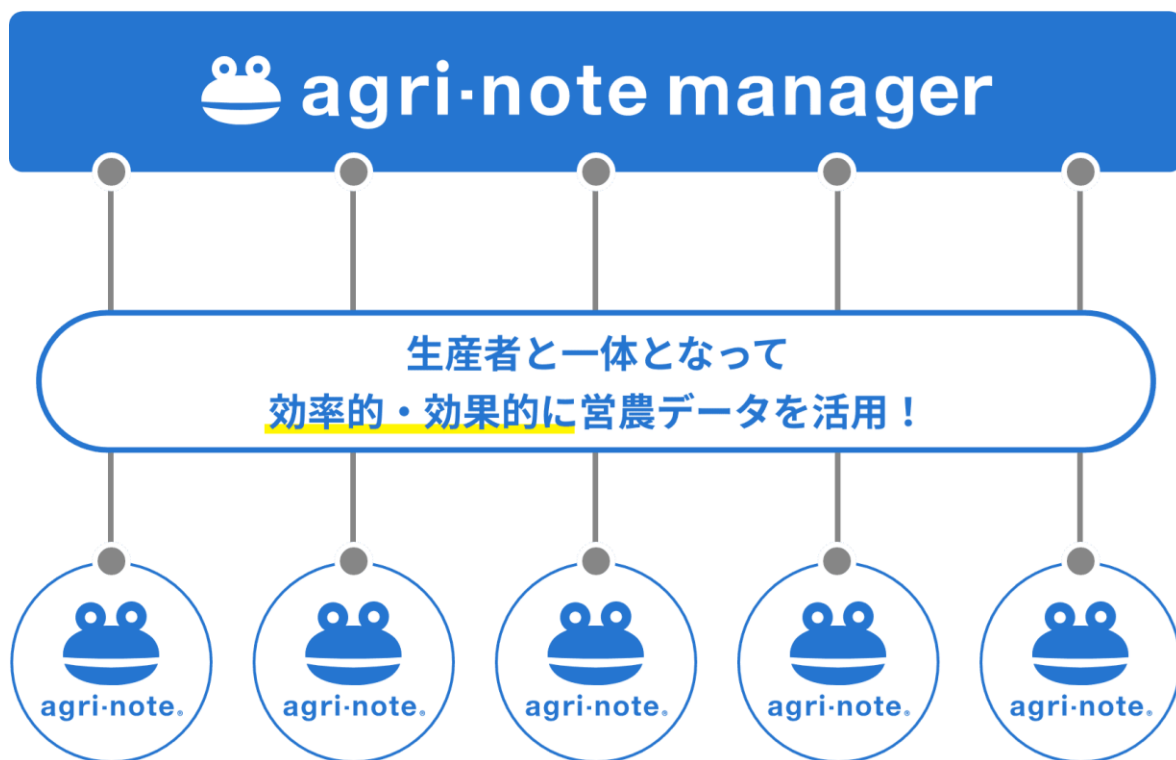
- 期間 2019年10月8日～2023年8月31日
- 対象 同期間中に無料会員登録を行ったユーザーに対しアンケートを実施
- 条件 栽培している作目で一番多い作目を選択

*1 水稲以外の畑作には、麦類・豆類・いも類を含みます
*2 その他には、花きを含みます



利用組織数：**23,000組織～**、登録圃場数：**110万圃場～**、登録圃場面積：**28万ha～**

生産者が「アグリノート」に保存した 営農情報を集約し、コミュニケーション効率化を実現



ホーム 基本情報 生産プラン データ集約 記録・画像 その他

進捗確認

リストを閉じる

こしひかりBL2022

検索

表示の絞り込み 圃場数を表示

表示項目選択 CSVダウンロード

生産プラン	作付名	組織名	代かき 圃場	播種 圃場	定植 圃場	出穂 圃場	収穫 圃場
▼ 作付ラベル							
■ こしひかりBL2022			125 / 125	125 / 125	120 / 125	22 / 125	0 / 125
■ いぶき2022	こし2022BL	富樫農園	15/15	15/15	10/15	5/15	0/15
■ 新之助2022	R4こしひかりBL	田中農園	15/15	15/15	15/15	5/15	0/15
■ トマト春夏2022	こしひかり	木村農園	20/20	20/20	20/20	0/20	0/20
	こしBL令和4年産	山本農園	18/18	18/18	18/18	0/18	0/18
	コシヒカリ	倉田農園	9/9	9/9	9/9	3/9	0/9
	コシ2022BL	大浦農園	11/11	11/11	11/11	0/11	0/11
	R4コシBL	清水農園	15/15	15/15	15/15	5/15	0/15

agri-note manager

表示件数 10 1131 - 1140 / 1200

誰のどんな役に立つか

JA生産部会事務局や
集荷場担当職員

GAP団体認証
事務局

産直市場や
食品メーカー
集荷担当

地方自治体の
普及指導員

資機材メーカーや
販売店営業担当

多数の農業生産者と
直接関わる方

生産現場の情報を集約

生産現場の今が見える

組織内で共有できる

過去実績がわかる

◎ 改善活動ができる ◎ ノウハウがたまる ◎ 時間と手間が減る

インターネットで実現する新しいお米のマーケット



- ・ 売り手 **1,600組織以上**
- ・ 買い手 **45組織**

① オファー登録

売ってくれる人
いないかな？



買い手（米卸業者・実需）

② オファー確認

お、いい条件！
売ってみようかな！



売り手（米生産者）

条件が合ったら

③ 契約成立



アグリノート
米市場
KOME-ICHIBA

課題①

そもそもGHG可視化が困難

何をどう計算すればいい?
データ集めるの大変...

課題②

経済的インセンティブがない

やっても儲からないことは
やらない

解決策①



(川上の活動量1次データ)



GHG排出量算定事業者
(算定ロジック、川中・川下)

生産者データを収集、
GHG排出量を可視化

データ連携し、
サプライチェーン全体の
GHG排出量を算定

解決策②

agri-note manager



Mitsubishi Corporation

FAEGER

green
carbon

企業にPRデータを提供
農産物のブランド化、
単価向上に貢献

環境に配慮して生産され
た米を調達したい企業と
マッチング

カーボנקレジットの
申請効率化に貢献、
クレジット収入創出

プレビュー：公開ページ（関係者...）

アグリ農園

私たちは新潟県で水稻を生産する生産法人です。有機肥料を使用し、農薬をなるべく使わない、地球環境に配慮した栽培をしています。私たちが生産するお米は、しっかりとした食感と、口に含んだ瞬間に広がる豊かな香り、甘みのある味わいが特徴です。地元の方々にはもちろん、全国各地からのお客様にも愛されている当法人のお米。私たちは、皆様においしいお米を提供するために、日々精進しています。私たちがのお米をぜひ一度ご賞味ください。（約200文字）

agri-farm-niigata.jp

シェア

ツイート

LINEで送る

応援メッセージを送る

この生産者の農産物

2023年産コシヒカリ

agri-note

プレビュー：公開ページ（関係者...）

2023年産コシヒカリ

今年のコシヒカリは最高の出来栄です。香り高く、口当たりの良い粒が揃い、炊きあがりもふっくらと美味しいです。地球環境にも配慮した栽培方法で育てた自信作。ぜひ一度お試しください。（約100文字）

シェア

ツイート

LINEで送る

育てたのは

アグリ農園

応援メッセージの送信もこちらから

もっと詳しく

温室効果ガス排出・削減量

★

★

★

地域の慣行的な栽培に比べて温室効果ガス排出量を15%削減しています

もっと詳しく

プレビュー：公開ページ（関係者...）

農業

削減割合 3.5 %

0.02 kg-CO₂の排出削減

農薬の使用量を減らすことで、農薬の製造などに伴って発生する温室効果ガスを削減することができます。

肥料

削減割合 17.6 %

0.26 kg-CO₂の排出削減

肥料の使用量を減らすことで、肥料の製造などに伴って発生する温室効果ガスを削減することができます。

プラスチック資材

削減割合 3.6 %

0.01 kg-CO₂未満の排出削減

農作物の栽培には農業用塩化ビニールなどのプラスチック資材が使用されます。これらの使用量を抑えることで温室効果ガスを削減できます。

燃料・電力

削減割合 △5.6 %

0.51 kg-CO₂の排出増加

炭素貯留

削減量への貢献 18.9 %

0.83 kg-CO₂の貯留

堆肥等を施用すると有機物に含まれる炭素が土壌に蓄積され、温室効果ガスの削減に寄与します。

計算方法について

● 上記の温室効果ガス削減量は、この作物の生産

プレビュー：公開ページ（関係者...）

作業の記録

作業期間 2023年3月1日～2023年10月1日

2023年3月20日 浸種

2023年3月30日 催芽

2023年4月1日 は種

2023年5月5日 定植

2023年6月10日 中干し（開始）

2023年6月20日 中干し（終了）

収穫の記録

2023年10月5日 収穫

2023年10月5日 乾燥調整

肥料の使用記録

窒素 (N)	リン酸 (P ₂ O ₅)	加里 (K ₂ O)
4.81 kg/10a	7.20 kg/10a	10.11 kg/10a

2023年4月20日 リンスター30

2023年4月20日 ホスピタ

2023年4月20日 けい酸カリプレミアム34

2023年5月1日 化成肥料12-18-14

2023年8月3日 化成肥料17-0-17

農薬の使用記録

使用回数（成分数）：0回（0成分）

ICT農機とのデータ連携

- 各種ICT農業機械との連携による稼働実績管理機能

気象・環境データの連携

- 気象センサーとの連携による各種環境データの取得

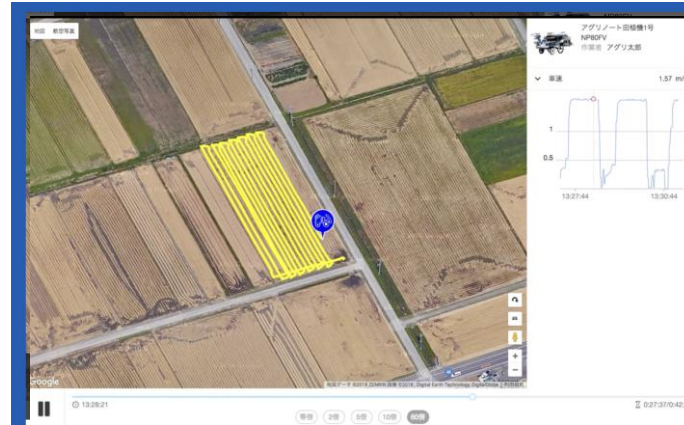
解析画像データの連携

- ドローン・人工衛星を活用したセンシングデータ（植生分析画像など）の連携

土壌診断情報の連携

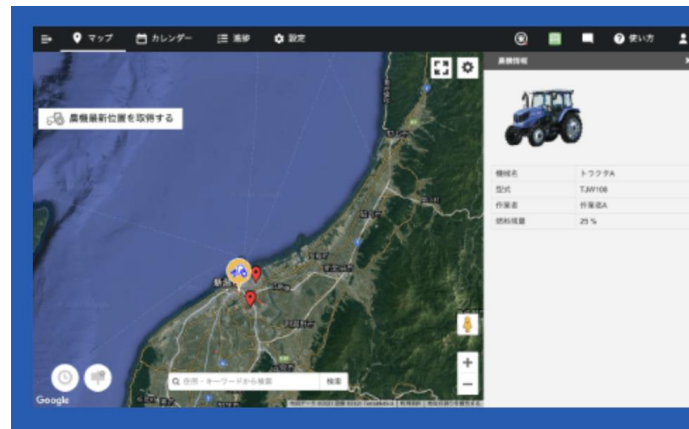
- 土壌分析・施肥設計結果のデジタルデータ化と情報連携





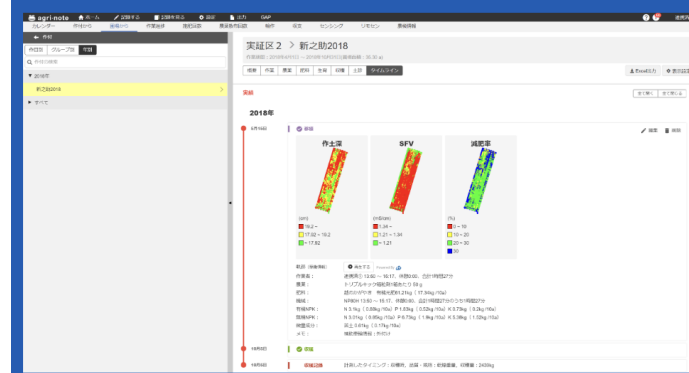
01 農機の稼働状況がわかる 軌跡表示・再生

『ISEKIアグリサポート』が取得した農機の稼働内容を見える化！圃場内をどのように農機が動いたのか、マップ上に軌跡を表示します。
農機の操作状況を動画で確認できるので、運転技術の向上などにも役立ていただけます。



02 農機の「最新位置」がわかる 位置情報・農機情報表示

今どこに農機がいるのか、農機の最新位置をマップ上にアイコンで表示。いつでもひと目で確認できます。アイコンをクリックすると乗務中の作業者や残燃料、コンバインではグレタンクの容量も確認可能に。農機の「今」をチェックいただけます。



03 圃場の“クセ”を可視化する 圃場分析機能

コンバインの収量情報、田植え機の作土深・土壌肥沃度情報など、農機の稼働記録と合わせてわかりやすく表示します。作業記録のタイムライン表示上で確認できるので、実施と改善後の比較や作業計画の検討に役立てていただけます。





水田雑草テラーメイド防除の新たな幕開け

精密散布を超えたトータルソリューションの提供

システム連携により「管理」から「防除意思決定」までの一気通貫サービスを農家に提供

最適散布・精密散布のサポート



「水田雑草テラーメイド防除」の デジタル診断・処方ツール

水稻除草剤処方提案
NDVI解析
病虫害予測
病虫害診断技術



圃場・営農のサポート

water-cell

agri-note

農作業や圃場管理の 営農支援ツール

圃場管理 / 栽培管理
計画・記録 / GAP
米集荷 / 農機連携



バイエル
農薬代理店

Field Advisor
feedback

Field Advisor
feedback



農家



【今後の検討】
気象データ / 雑草育成予測
発生予察サービス / 市況情報 など



「農薬適否判定システム」

当社が海外向けに生産した緑茶原料を各国の農薬基準に適しているかを判定する際に活用する独自システムで、2024年1月より運用を開始しました。農薬適否判定に関する全てのデータを一つのシステムで管理できるため、連携のスムーズ化や人為的ミスの軽減などが実現します。なお本システムは、今後「アグリノート」との連携を目指しており、トレーサビリティのさらなる高度化を狙います。



“デジタルを活用した農業界の課題解決”にご賛同頂ける皆様、
ぜひお気軽にお問い合わせを！

民間企業様

企業様

JA様

自治体様

アグリノート



トップページ右上の“お問い合わせをクリック

agri-note.

ご利用ユーザーの方

新規会員登録(無料)

ログイン

トップページ

導入事例

アグリノートでできること

料金・プラン

導入・運用サポート

よくある質問

お問い合わせ

農業は「記憶」から「記録」へ
使いやすさで選ばれています

ご利用組織数
22,000
突破!



www.agri-note.jp